

## 01 総会・全体研修会



## 02 中信のつどい



## 03 宅幼老所 ステップアップ研修

## 04 若年性認知症支援 コーディネーター

## 05 会員向けアンケート 結果報告

## 裏表紙

リレー特集  
会員の取り組み



### 巻頭言

## 変わりゆく時代

社会福祉法人 恵仁福祉協会  
下原グループホーム 田中広一

2019年度、「平成」から、ひとりひとりが明日への希望と共にそれぞれの花を大きく咲かすことができる、そうした日本でありたいと願いが込められた「令和」へと時代が変わりました。

日ごろ元号をあまり気にしていませんでしたが、平成の30年を振り返ると「認知症」をめぐる状況も大きく変わったと感ずます。介護保険制度の創設と改正、認知症施策ではオレンジプラン・新オレンジプランなどができました。

痴呆から認知症へと名称が変わり、今では多くの人々が知っている言葉になりました。また近年では、認知症と診断された本人が、当事者として公の場で語る機会も増えてきました。

当連絡会は長野県から若年性認知症支援コーディネーターを委託され3年目になり、当事者同士が語り合

う本人ミーティングや支援者向けの研修会を行ってきました。当事者同士が出会い、つながり「私」を主語につらい体験から希望も語り合っていく。困りごとや出来ない事ベースではなく、やりたい事ベースで話しをしていくことで話が進み実現することを学びました。改めて、目の前にいる人と向き合い、対話していく大事な時だと感じます。

また、令和に入ると認知症施策推進大綱も発表されました。大綱では「共生」と「予防」の両輪として進められていくとあります。宅幼老所ステップアップ研修にも共生ケアや地域支援を学ぶ機会があります。「共生」は、認知症の人が尊厳や希望をもって認知症と共に生きる、そして、認知症や障害があってもなくても同じ社会で生きるということだと思えます。「予防」は、「認知症にならない」と言う意味ではなく「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行をゆるやかにする」とあります。認知症になっても安心して過ごせる地域づくりという備えが大事だと思えます。

目の前の人や地域の良きパートナーとなれるよう、令和の時代を皆さんとより良い時代にしていきましょう。

## 令和元年度 第14回 通常総会・全体研修会

有限会社 創生活環境運営 伊東 進



去る6月5日(木)、豊科交流学習センター「きぼう」にて令和元年度 第14回通常総会が開催され、無事終了いたしました。多数の会員の皆さまにご出席いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

総会后、「元祖宅老所の話」をテーマに、よりあいの森 所長 村瀬孝生氏の講演会を開催しました。

人間の「老い」にどう寄り添い、向き合うのか、真剣に考えさせられるエピソードをお聞きすることができました。「老い」の中に認知症が介在すると考えた

時、認知症の周辺症状は「老いにおける自分らしさ」と捉えることができるのではないかと印象的でした。

人の想いに寄り添う事は、ケアの機能化や効率化では解決できない事も、私たち専門職は日々の仕事の中で肝に銘じておかなければならない事かも知れません。

私たちが今一度、福祉の原点に立ち返ることができた講演でした。

## 若年性認知症支援コーディネーターの活動報告

若年性認知症支援コーディネーター 伝田 景光

県の委託を受けて早三年。コーディネーターの仲間も増え、現在は7名体制になっています。現在の特筆すべき活動は「本人ミーティング」の開催です。長野市と岡谷市を中心にそれぞれ特色を出しながら活動を行なっています。

認知症を抱えてしまった若年の当事者が、同じ悩みを持つ仲間と出会い、不安や困りごとを話し合っています。しかし、ミーティングの回数を重ねるごとに、だんだんと打ち解けた明るい雰囲気になり、「楽しいこと」や「やりたいこと」を語り出すのです。

若年の認知症の方にはサポートというよりも、周りの「深い理解!」と「仲間意識!」があれば、認知症がその人の全てではなく、一部になるのです。

認知症は人間から多くのものを奪っていきます。しかし、病気や環境から、その人の生きる意味や生きる力まで奪われなくてもいいのです。社会の偏見や抱えてしまった病気から、彼らを守れるような活動を続けて行きたいです。そういう仲間を募集中!

—You can do it with us (^\_^)v



## 中信のつどい

NPO法人 グループもみじ 田中 題

8月22日(木)に、つながりと思いを共有できる場として『第2回中信のつどい』を開催しました。県内から連絡会の仲間23名が集まり、食事をしながら楽しく懇親会を開催することができました。皆さんありがとうございました。

立場に関係なく、気楽な雰囲気それぞれつながりがもて、交流や相談ができ、貴重な時間になったのではないのでしょうか。また、誕生日ごとの自己紹介では、冗談ありツッコミありで時の経つのも忘れるほど、共に楽しく笑って過ごせたことは良い思い出になります。



最後はみんなで手と手を取り合い今後の健闘を誓いあいました。また来年、さらに多くの仲間とつどえることを楽しみにしています。

## 令和元年度 宅幼老所ステップアップ研修

株式会社 和が家 今井 祐輔

今年も「宅幼老所ステップアップ研修」が始まりました。すでに基礎過程のよろず支援機能・基礎研修も終え、ステップ3の応用課程に入っています。

この研修は県の補助金事業「宅幼老所機能強化事業」に位置付けられています。宅老所(通所介護)のみならず、小規模多機能、認知症共同生活介護、小規模

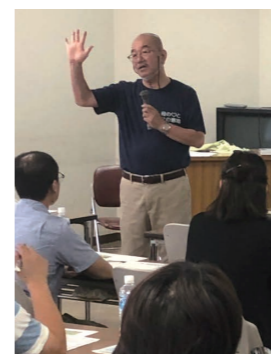


特養などの地域密着型事業の方も幅広く対象としています。長野県に400余りあるといわれている「宅老所」のレベルアップを狙った研修ですが、地域支援、認知症支援、共生ケアをすべて網羅したこの研修は、「宅老所」を名乗ってなくても、地域で福祉の拠点をめざす事業

所であれば満足できる研修体系になっていると思います。

また、全10回の研修を受講した後に、自分の事業所を地域にPRする目的で「パートナーシップ宣言」を作成してもらいます。これは県のホームページ上で公表され、誰でも閲覧できるようになっています。現在66の事業所が、それぞれの持ち味を生かした取り組みや活動をPR文に落とし込み、地域への発信を行っています。

介護事業にだけにとどまらず、地域の困りごとや課題などに、積極的に関わっていける「よろず相談所」のような事業所が長野県に増える事を願っています。



## お知らせ

5月に実施した、連絡会会員様向けアンケートに協力いただきありがとうございました。

アンケート集計結果は連絡会ホームページにて公表しております。下記URLまたはQRコードからアクセスしてご覧ください。

<http://www.nagano-taku-gh.jp/siryu/anketo2019-2.pdf>



連絡会 会員事業所様を、リレー方式でご紹介



今回は南信の  
会員事業所様の紹介です

## 特定非営利活動法人 グループかけはし

訪問介護事業所  
配食サービス  
地域密着型通所介護 宅老所 かけはし  
認知症対応型通所介護 宅老所 姫宮  
ショートステイ 姫宮  
居宅介護支援事業所

〒395-0004 飯田市上郷黒田 2763-1  
TEL : 0265-53-3800 FAX : 0265-21-7585 Mail : info@kakehasi.net



子育てがひと段落し『何か私達にできる事はないか』と主婦5人が集まり始めた介護サービス“かけはし”が創立して30年が経ちました。今では「居宅介護」「訪問介護」「通所介護」「認知症対応型通所介護」「ショートステイ」「配食サービス」の6部門で事業を行っています。

通所介護では日々懐かしい歌を歌ったり、季節の料理を利用者さんから教えてもらったり、花を見にドライブへ出かけたりと、賑やかさもありませんが、家でも過ごす様な安心感を持って過ごして頂いています。



配食サービスでは一人一人の体調に合わせ、普通食、刻み食、減塩食等を提供しています。利用者さん



宅まで配達し直接会話をする事で元気で過ごされているか、変わった事はないかと様子を見ています。そして、訪問介護を筆頭に、認知症の一人暮らしの利用者さんの様子を、各部門皆で支え合うことができています。

平成で事業が始まり令和となった今でも変わらず地域のお年寄りの方々が安心して暮らせる手助けができる事に感謝し、さらなる時代の“かけはし”になれるようスタッフ一同笑顔で頑張っています。



今後のスケジュール  研修の詳細、お申込みについては連絡会 HP (<http://nagano-taku-gh.jp>) をご覧ください

10月28日…宅幼老所ステップアップ研修 応用・計画①

11月14日…認知症ケア・初級研修 (北信②)

11月26日…宅幼老所ステップアップ研修 応用・計画②

12月 9日…認知症ケア・初級研修 (中信②)

12月17日…認知症ケア・中級研修～ひもとき～ (東北信)

12月26日…宅幼老所ステップアップ研修 応用・計画③

**Viva** 連絡会

発行元

特定非営利活動法人 長野県宅老所・グループホーム連絡会事務局  
〒386-0018 長野県上田市常田 3-4-14 第二陽光ハイツ  
TEL : 0268-75-7383 FAX : 0268-75-8212  
E-mail : info@nagano-taku-gh.jp URL : <http://www.nagano-taku-gh.jp/>